



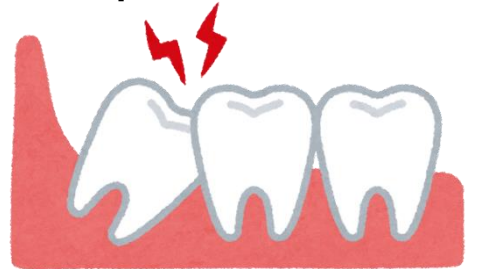
大雪で大変厳しかった冬も終わり、桜の便りが聞かれる季節となりました。寒暖差がありますので、引き続き体調管理にはご注意ください。



### 親知らずは抜いた方が良いの？

親知らずの正式名称は第三大臼歯といい、前から数えて8番目の歯です。上下左右合計4本ありますが、あごの中に埋まったままはえてこない場合や、斜めになって前の歯にぶつかってしまうことも多くみられます。親知らずが無い人もいます。まっすぐに4本はえていれば問題はありません。

それではどのような場合に、抜歯の必要があるのでしょうか。



・上下の親知らずが、かみ合っていない場合

横向きになっていたり、いずれか片方しか歯がない場合

・むし歯が大きい場合

一番奥の歯なので、歯磨きが難しく、むし歯になりやすい状態です。むし歯に気が付きにくく、気づいた時には大きなむし歯になっていることが多いのが特徴です。

・炎症(腫れ)を繰り返す場合

歯ぐきが腫れてずきずきする、頬まで腫れているようなとき抜歯の対象です。抗生剤で炎症を抑えてから抜歯します。

・手前の歯(第二大臼歯・7番)に影響がある場合

親知らずの影響で、7番がむし歯になったり、歯周ポケットが深くなったりすることがあります。

他にも抜歯の対象となる場合があります。歯科医院では、エックス線写真を撮って、抜歯が必要かどうか診断します。歯科医院で相談してみてください。